

三浦外洋セーリングクラブ 理事会議事録

開催日：2022年3月15日（火） 18:30～19:50

場 所：Zoom ミーティング

出席者：理 事：荒嶋、安藤、飯島、五十嵐、石原、尾山、加藤、黒岩、小板橋、才藤、坂口、庄野、鈴木、高木、三輪、吉田

監 事：小川

顧 問：児玉、関根、平松

オブザーバー：小池

（敬称略）

庄野理事の進行により、Zoom ミーティングによる会議開始時点での参加人数（理事の出席16名）が定則を満たしていることから理事会の成立が確認され、今回から会長を引き継いだので宜しくとの挨拶があり、議事録作成に加藤理事及び小板橋理事、議事録署名については鈴木理事を指名し、下記議案を審議した。

<審議事項>

1. 2023 年理事会・総会日程（11月以降）

飯島会長から、2023 年の理事会については、1 月は13日に監査を予定するので18日（水）とし、2 月は総会及び総会前理事会を15日（水）として、3 月も15日（水）に予定する。庄野理事から、次回は5月10日（火）で、9月13日（火）、11月8日（火）となるので、各自スケジュールの確保をお願いするとのことであった。

本件は上記の日程で承認された。

2. みさきヨット決算及び代表者の変更

坂口事務局長から、みさきヨットは通常9月決算であり、通年だと10数艇の海岸局加入があったが、昨年度はコロナの影響もあり7艇の実績であった。当期の収支差額は53,544円となり、次期繰越金は563,704円となった。今年は今現在で5艇ほどの海岸局加入があり、通年同様の加入を考えている。本理事会終了後に、湘南と三崎に本決算結果をお送りする。

庄野理事から、みさきヨットの預金口座名の変更及び代表者名を庄野から飯島洋一に変更になった旨議事録への記載依頼があった。

また、庄野理事から、関東総合通信局海岸局の新任免許担当者へ飯島会長、坂口事務局長及び尾山理事または関根顧問で訪問して引き継ぎをお願いする。

本件は承認された。

3. 5 月理事会までの間のレース・イベント確認

荒嶋理事から、ショウナンレースは3月はまん防のために中止、4月10日に上下レース、5月8日に城ヶ島沖、6月12日に上下、7月10日に江ノ島、8月14日に上下の予定である。8月6日に石廊崎

レース、7日にトランスサガミの予定である。

三輪理事から、延期となったジャッジ講習会についてはまん防の様子次第だが、4月10日に予定している。

高木理事から、東京消防庁では救急救命士の講習を6月位から開始するとのことで、MOSCのHPで講習費用の援助を広報する。また、AEDの購入も準備する。

平松顧問から、5月3日4日5日の3日間、シーボニアヨットクラブ主催でゴールデンウィークレガッタを開催するとともに、5日にはオープンレースを同時開催するので奮っての参加をお願いする。

本件は以上の通り確認された。

4. JSAF 主催者保険加入について

飯島会長から、JSAF 主催者保険については三輪理事に説明をお願いしているが、小網代フリートレースは主催者保険に入っていないことから、小池小網代ヨットクラブレース委員長にオブザーバーとして参加をお願いしていることから、報告事項の後にすることが提案された。

小池レース委員長が Zoom に参加されたので、報告事項の途中で本件の審議を行った。

三輪理事から、保険は人及び物そして費用と責任の3つに分かれ、人と物は保険が自動的に出るが、費用・責任は責任を負うことによって生じた損害が出ないと保険が出ないので、事故さえ起されれば保険が出ると思うことは間違いである。ルール3条に保険と補償は競技と別であるとの記載があるが、日本で事故が起きたら場合についてはグアムレースでは和解勧告されており、50年前の女子インカレの際の事故で遺族から賠償請求をされたが保険がないために義援金で処理した。レース主催者保険は小型艇と大型艇と別であり、補償内容の運営上の過失によりが重要で、レース委員会の過失により補償の必要性が生じたことを証明しないと保険金がでない。保険費用の殆どは出ないと考えたら良い。加入条件が外洋系加盟団体・特別加盟団体となっていることから、外洋三浦でないと被保険者にはなれない。訴えることは被害者側の自由であり、レースに関する保険は主催者保険しかないので、保険に入っていた方が良い。

児玉顧問から、当事者としてグアムレースの和解勧告についての具体的説明がなされた。

その後、小池レース委員長から、費用についての質問があり、関根顧問からの回答等があったが、確認事項等もあり直ぐに結論が出ることではないので、継続審議となった。

5. その他

庄野理事から、その他としての審議事項について確認が行われ、ないことが確認された。

<報告事項>

1. 各委員会委員長任命について

飯島会長から、各委員会委員長について、総務委員会は庄野理事に、レース委員会は荒嶋理事に、ルール委員会は三輪理事に、安全委員会は高木理事に、計測委員会は北川理事だが鈴木理事にサポートをお願いする、通信委員会は石原理事に各委員会委員長をお願いする旨報告された。

また、監事については、引き続き最川監事と新任の小川監事をお願いする旨報告された。

さらに、フリートキャプテンについては、小網代フリートは高木理事に、佐島フリートは庄野理事に、

シーボニアフリートは今回から臼田理事にお願いする旨報告された。

また、議事録作成をお願いする加藤理事は総務委員会に、新任の吉田理事はレース委員会に所属すること、会長及び副会長が報告された。

2. JSAF 水域理事候補者の推薦について

庄野理事から、JSAF 理事改選の年にあたり、選挙理事は立候補者が枠内に収まったため無選挙となり、関東水域からは外洋東京湾から井上氏を理事として推挙することとなり、関東4団体からは外洋三崎、東京湾、三浦、湘南で持ち回りで理事を出すこととなっていることが報告された。

3. その他

1) 功労賞 盾の製作と配布

飯島会長から、2月の総会で退任された伊藤氏、関根氏、平松氏に対して、功労を称える盾を製作し、明日事務局へ届く予定である。届き次第、御三方にはお送りさせていただきます。

2) 名刺作成希望者の確認

庄野理事から、自費とはなるが、三浦 OSC の名刺作成を行うべく準備するので、希望者はメールでの返信をお願いする。

3) 基金運営委員について

小板橋理事から、基金規約により三浦 OSC の飯島会長は運営委員になれない、また関根顧問が運営委員となっているので、運営委員として2名を選任して欲しいとの提案があり、調整することとなった。

4) MOSC ホームページ

鈴木理事から、MOSC ホームページのリンク先について、2022年から外洋計測委員会が IRC、ORC レーティングともに発行業務を行うことになったため、MOSC ホームページ内にある ORC レーティングに関するリンク先の修正をお願いし、坂口事務局長が修正することとなった。

5) 5月理事会の開催方法

坂口事務局長から、5月理事会の開催をどうするか提案があり、ハイブリッドでの開催を検討することとなった。

以上で本日の議事をすべて終了し、19時50分に理事会を閉会した。

以 上

2022 年 月 日

議事録署名人